

新しい風

倉敷市立琴浦南小学校
平成27年 6月17日
No.9

何でしょう、これは？



初めてその姿に気付いたのは、家庭訪問最終日4月24日の掃除時間でした。下校前の慌ただしい時間であったにもかかわらず、黙々と雑巾がけをしている児童がいました。近くにいた子も誘って一緒にやってみましたが、渡り廊下を1往復するとひざも足もがくがくになってしまいました。

「楽しい!!」そう言って、その後、何往復もするその子の雑きんは手の位置に大きな穴があいていたのです。左の写真は、その時のものでは

なく、2枚目の雑巾です。5月の終わりには再び大きな穴が2つあいていました。頭の下がる思いがしました。まわりに惑わされることなく黙々と動く姿、きっとその子は、掃除以外のことにもきちんと正面から取り組むことができる子にちがいありません。そして、それは、自身の生き方として将来へも続くものと思います。



額に汗 心に輝き

「先生、〇〇くんは？」 「ん?!」

先日掃除時間に家庭科室前を通っていると声をかけられました。声をかけてきたのは1年生です。水をはったバケツを置いて廊下のふき掃除をしていました。

「ちょっとわからんなあ・・・」

そんな答えが耳に届くよりも先に、その子はすでに雑巾がけをしながら向こうの方に進んでいました。

「よし、いくど。」

そう言って後に続きましたが、そのスピードには全く歯が立ちませんでした。一人、二人と1年生が続いてふいていきます。蒸し暑い日でしたが、みんな素敵な笑顔でした。

掃除の最後は片付けです。雑巾から滴り落ちる水がなかなかとまりません。ボールのようにして必死で握りしめています。「こうやって細くして、右手と左手を・・・」

「うわあ、いっぱい水が出た」「雑巾がかたくなってる」

数名の1年生が、みんな歓声をあげながら最後の雑巾をかけるところまできちんとやりぬきました。

1年生の額をつたう汗をさわやかな風が包みこむ、そんな掃除時間・・・。

「〇〇くん」とは、いつも、その場所を一緒に掃除している上級生だったようです。1年生の思いがその上級生にも届きますように。

あのトイレはいつもきちんとしとるなあ。掃除道具が出とることもないし。使い方もうごくええで。

先日、職員室で耳にした会話

掃除をする子にも、そこを使う子にも大きな拍手です。

それはたぶん、トイレ掃除の子がいつも本気でやっているのを他の子が見ているからです。ほんまにいつもちゃんとやっていますもん。



現在、掃除は本校の課題の一つです。

今週の目標は「だまって掃除をしよう」です。

①最初と最後のあいさつをきちんとする。②だまってする。月曜日は、全校が目標を意識している雰囲気を感じる掃除時間となりました。一生懸命さを背中から伝えられる、そんな姿が増えることを願っています。